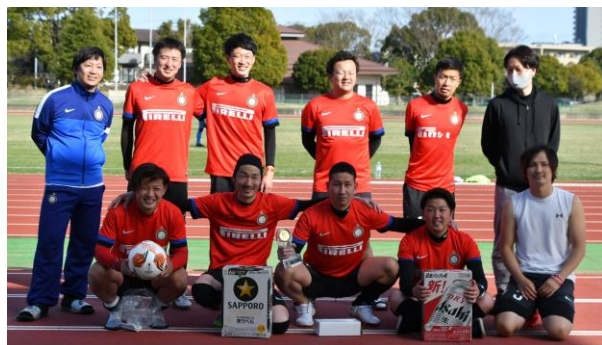
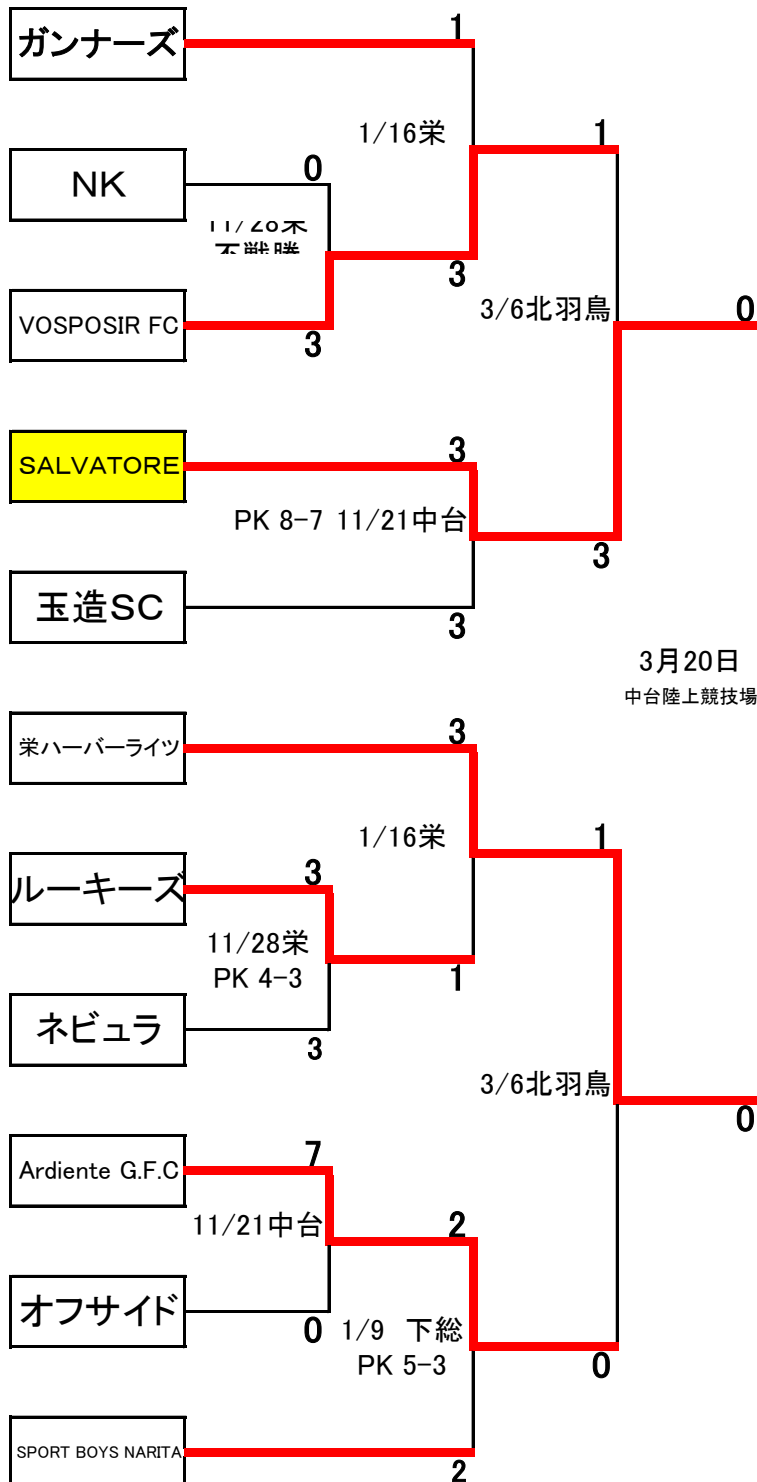


2021（令和3）年度 成田市（社会人サッカー選手権）トーナメント大会

- 主催：一般社団法人成田市サッカー協会1種部会
- 主管：一般社団法人成田市サッカー協会1種部会／同審判部
- 期間：令和3年11月から令和4年3月
- 参加費：3000円／チーム
- 参加資格：市協会1種（社会人）リーグ登録チーム、※エンジョイで重複登録選手は両チームでの参加不可。
- ルール：①11人制、②試合時間：30-5-30、③延長なし、④同点時はPK戦、⑤メンバー表に記載選手は全て交代可能
- その他：勝者は次年度のチャンピオンシップ（成田市社会人No1チーム決定戦）の出場権を得る。

《大会結果》

昨年はコロナ過の影響で中止となったこの大会（正式大会名：成田市社会人サッカー選手権大会）は、今回で第29回目、参加11チームで開催。SALVATOREが栄ハーバーライツをPK戦の末に退けH27(2015)年度大会以来の2度目優勝を飾る。



優勝：SALVATORE（同大会2度目）



SALVATORE、GK山田がPK戦のけりをつける

優勝

SALVATORE



栄ハーバーのゴールを死守するGK若松



準優勝：栄ハーバーライツ

2021（令和3）年度 成田市（社会人サッカー選手権）トーナメント 決勝（結果）

猛攻するも栄ハーバーライツの堅守に60分で勝負つかず、PK戦でSALVATOREの勝利なる

■日時： 令和3年3月30日（日）PM1時～ ■場所 中台陸上競技場 ■試合時間：30-5-30 ■天候：晴れ
 ■審判： 主審：西林、副審：宮野、関谷、予備審：斎藤、記録：江角

栄ハーバーライツ 3	0	前半	0	4 SALVATORE
	0	後半	0	
	3	PK	4	

■得点：PK：⑫羽石× ⑨上羽○ 30竹中○ ⑩中嶋○ ②新井× ⑭土佐× ⑪溝口○ ⑯渥美○ ⑨本田○ ⑦松村○

今年度の決勝戦は、新鋭Aridenteを破って勝ち上がった栄ハーバーライツと、この大会を制して来季チャンピオンシップ大会への切符を得たいSALVATORE（サルバトーレ）とのガチンコ勝負の好カード、特にSALVATOREはほぼ主力メンバーを集めて戦力も充実、受けて立つ強豪・栄ハーバーライツも力が入ります。

■戦評：布陣はSALVATOREが4-4-2？、栄が本来前の選手を下げて2ボランチの4-2-3-1。立上がりから双方当たり強くボールを奪う、SALVAが縦にボールを供給する早い攻めなら、これを栄の守備陣がはじき返す形で試合は進む。栄側に再三危ない場面が訪れるが、SALVAの詰めの甘さもあり前半は無得点。後半はSALVAが縦の攻撃をひかえ横から揺さぶる形で、好機を作りますが決めきれずPK戦までもつれるが、栄の驚異の粘りもここまででした。

前半 ■前半04 左から崩して侵入、右に流れながらSALVA⑦松村の挨拶代わりに初シュートが枠を外れる
 ■前半24 SALVAが長めクロスで、好機をつくりシュートまでいくが栄GK若松がキャッチで阻む
 ■前半27 ⑦松村が起点となりPエリア手前まで再三侵入、しかし好位置から決めきれず。その後もSALVAの時間帯が続き、栄が後手になるが相手の詰めも甘く決めきれず0-0で折り返す。

後半 ■後半02 SALVA左MFの⑭土佐が縦パスを左サイドで受け、競り勝ちながら中へ折り返すゴール前の好機を作るがゴールに至らず。その後08分にも、強烈シュートを栄GK若松が阻むが前にこぼす、これを再び蹴りこむが枠を外すなど、SALVA攻撃陣の波状攻撃を、栄の守備が耐えてゴールを許さず。
 ■後半10 栄も前線に交代INした⑫羽石に縦に球を集め左CKを得て、フォアP側に落とすが決めきれず。
 ■後半19 左から崩しDFを引っ張り出して中に供給、走り込んだSALVA⑦松村が蹴りこむが栄GKが阻む。
 ■後半20 左Pエリアを破られ至近距離からの強烈シュートを栄のGK若松が横っ飛び片手で弾く。
 ■後半28 運動量が落ちてきた栄の最終ラインをSALVAが突破、GK若松が飛び出し微妙な位置で交錯して双方転倒、SALVA側からPKコールも出たが主審が判断はFK。これを栄守備陣が踏ん張りタッチラインに逃れる。その後も栄が驚異の粘りで2回のCK攻撃にも耐えて0-0でPK戦にもつれ込みます。
 ■PK戦 双方とも1人目が外したが、その後3人目が入って迎えた栄5人目をSALVAのGK山田が横っ飛びで阻み、これで入れたら勝利の場面でSALVA5人目の⑦松村がきっちり決めて勝負あり。

位置	背番号	名前	備考
GK	1	若松 駿	
DF	6	南本 悠佑	
DF	28	諏訪 恒丞	
DF	22	織田 晟矢	
DF	26	大槻 拓矢	
MF	20	新井 航大	
MF	19	上羽 亮平	
MF	30	竹中 優太郎	
MF	9	山中 真	
MF	10	中嶋 鉄矢	
FW	24	長谷川 大輔	

SUB			
SUB	13	畑村 幸生	後半IN
SUB	12	羽石 尚吾	後半IN
SUB	50	中嶋 剛介	

■監督 中嶋 剛介

位置	背番号	名前	備考
GK	1	山田 工	
DF	23	今関 敏幸	
DF	5	鈴木 健太郎	
DF	26	渥美 遼一	
DF	22	辻 将史	
MF	13	椎村 春紀	
MF	7	松村 俊介	
MF	18	佐川 靖	
MF	14	土佐 倅太郎	
FW	9	本田 哲也	
FW	11	溝口 大気	

SUB			
SUB	17	関口 一毅	
SUB	12	玄地 優介	
SUB	19	鎌形 周	

■監督 松村 俊介



栄ハーバーライツ



SALVATORE



松村俊介CAP

■優勝チームへの1問1答
 ■ゲームプラン：前半は攻めの意識が強すぎて縦（攻撃）が多すぎ（単調になった）ので、後半は横を使って崩してから得点に結びつけるだった。最後の詰め甘く、決めきれない
 ■勝因：PKなので運しかない。できれば60分で勝負をつけたかった、PK戦では（ここまで攻めて）負ける訳にいかない。最後の最後でよくGKが守ってくれた。
 ■最後に決めた感想は：（60分間）外しまくったので何とも言えない。
 ■チャンピオンシップについて：（今季同大会の）雪辱を晴らし成田No1を獲得したい。

2021（令和3）年度 成田市（社会人サッカー選手権）トーナメント 決勝（写真）



■ 左からA2関谷、主審：西林、A1:宮野

■ SALVA溝口選手のシュートを阻む栄守備陣

■ 攻守の激しい攻防



■ 奮闘の栄GK若松選手

■ 逆襲を試みる栄ハーバーライツの攻撃

■ 競り合い(空中戦)



■ 無理な体制からでもシュートを打つ

■ GK飛び出し不在のゴールを驚異の粘りで守り切る栄ハーバーライツ守備陣



■ 何度も好機を作りながら決めきれなかったが、最後に試合を決めたのもこの人、SALVATOREのPK5人目の⑦松村選手